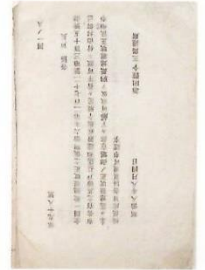


地租改正測量図(明治13年)



地租改正布達  
(明治8年)



地租改正合計帳  
安田村



田起し図



乾田馬耕図繪馬



農具繪馬・明治30年



乾田馬耕指導教師  
伊佐治八郎  
池田亀太郎画



西羽新報(明治14年)



酒田縣令三島通磨



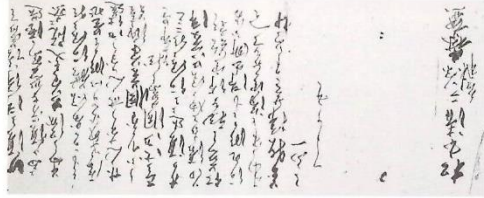
森藤右衛門



ツツバ当



酒田縣通達(明治5年)



松本清二宛  
森藤右衛門書簡



大塩平八郎  
鼻首之図



# 近代化への道

第146回  
企画展

戊辰戦争～文明開化



スペンサーライフル  
(個人蔵)

- ◎開催期間  
平成19年  
3月15日(木)～5月20日(日)
- ◎休館日  
3月19・26日(4月～11月は無休)
- ◎開館時間  
午前9時～午後4時30分
- ◎入館料  
大人100円・小学生～大学生50円  
(小・中学生は土・日無料)

## 酒田市立資料館

酒田市一番町8番16号  
TEL・FAX 0234(24)6544

# 開催にあたって

酒田は、江戸時代の初め、1622年に信州松代から庄内に入部した酒井家によって、幕末まで治められてきました。この間、酒田には亀ヶ崎城代や酒田町奉行所が置かれ、庄内藩との結び付きを深めました。

一方、日本は、諸外国との往来を原則禁じた鎖国と呼ばれる外交体制を200年余り続けておりましたが、1854年、欧米各国の要請を受け入れ開国しました。この政策変換は日本国内を大きく揺るがせ、尊皇攘夷から倒幕運動へ、さらには大政奉還と王政復古を経て明治新政府が成立しました。この過程で、新政府への徳川家の影響を排除する処置を不満とした旧幕府軍と新政府軍が戦った戊辰戦争は、酒田町民も巻き込みました。酒田では、町兵や農兵、工兵の各隊を組織し、庄内藩士とともに出兵し新政府軍と戦いました。また、明治政府が進めた近代化政策は、酒田においても様々な変化をもたらしました。

本企画展では、変貌をとげる酒田の姿を「戊辰戦争と庄内藩」、「明治の教育」、「酒田県とワップ騒動」、「酒田県の殖産政策」を中心に紹介し、近代化の道程の一端を探ります。

本展の開催にあたり、貴重な資料を快くご提供くださいました関係機関、各位並びにご協力賜りました多くの方々へ心からお礼申し上げます。

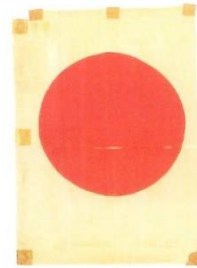
## ◎資料提供及び協力者

板戸住吉神社、岩田明氏、財団法人致道博物館、酒田市立光丘文庫、酒田市松山文化伝承館、長南寿一氏、鶴岡市立郷土資料館、土方大美氏、毛利勝人氏

# 戊辰戦争と庄内藩



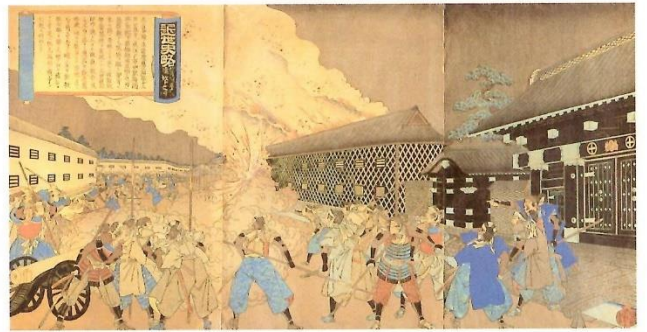
庄内藩13代藩主  
酒井忠篤



朱の丸



松森胤保



薩州屋敷焼撃之図(豊斎国輝筆)



庄内戊辰戦争図絵(致道博物館蔵)



破軍星旗(北斗七星旗)



酒井玄蕃(吉之丞)



酒田大工町工兵隊の墓



薩摩藩が使用した  
大砲の複製



矢羽根采配  
(毛利廣明使用)



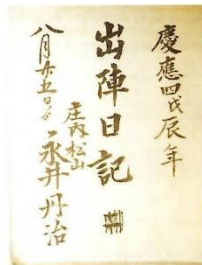
西郷隆盛



酒田町兵御用留  
慶応4年  
(個人蔵)



菅 実秀



出陣日記・庄内松山  
永井丹治(毛利廣明)



佐賀蓮池藩士の墓ほか

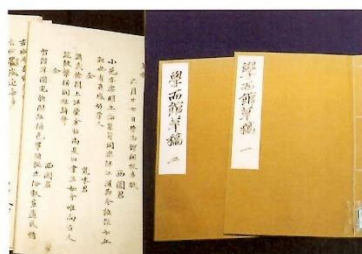
# 明治の教育



酒田民生局長官  
西岡周碩書



酒田民政局布達 明治2年5月



学而館草稿



学而館のあった天正寺



松山藩8代藩主 酒井忠臣  
(正心学校初代校長)



明治教育創施之處碑  
(天正寺境内)



正心学校(松山) 明治15年